



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月10日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6294 URL <http://www.aiyon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻田 俊幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,800	1.8	679	△14.9	691	△19.7	419	△21.7
27年3月期第3四半期	8,648	16.1	798	20.6	861	29.1	535	33.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 371百万円 (△38.4%) 27年3月期第3四半期 602百万円 (28.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	60.79	60.50
27年3月期第3四半期	77.61	77.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	14,596	6,903	47.0	993.85
27年3月期	13,561	6,586	48.4	950.96

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 6,861百万円 27年3月期 6,564百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	18.00	18.00
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	4.7	1,000	12.1	1,000	5.5	650	13.1	94.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	7,228,700株	27年3月期	7,228,700株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	325,269株	27年3月期	325,220株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	6,903,434株	27年3月期3Q	6,903,522株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は全体として底堅く推移するとともに、企業収益や雇用情勢も改善が続き、総じて緩やかな回復基調の中で推移いたしました。一方、世界経済は中国を始めとするアジア新興国に景気減速感が見られた他、原油価格の下落などにより、先行きに対する不透明感が強まってまいりました。

このような環境のもとで当社グループは、主力商品の圧砕機、油圧ブレーカ、環境関連機器の販売に注力しました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,800百万円（前年同期比1.8%増）と増収を確保したものの、損益面では、円安による輸入品の原価率上昇や拠点増設による経費増もあり、営業利益679百万円（前年同期比14.9%減）、経常利益691百万円（前年同期比19.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益419百万円（前年同期比21.7%減）と減益となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

国内事業は、売上高全体で6,897百万円（前年同期比4.6%減）となりました。主力の圧砕機に関しては主に首都圏を中心とした耐震建替工事等による需要は底堅いもののレンタル業者の投資先延ばし等の影響もあり売上高は3,429百万円（前年同期比4.7%減）となりました。油圧ブレーカに関しては公共事業の減少や東日本大震災の需要終了もあり534百万円（前年同期比27.9%減）となりました。環境機械は引き合いは増加傾向ながら、円安による販売価格アップもあり795百万円（前年同期比0.7%増）と微増にとどまりました。また、原材料売上高は905百万円（前年同期比5.0%減）、修理売上高は499百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

海外事業は、米国現法の売上高が好調な需要を背景に1,390百万円（前年同期比35.3%増）と大きく伸びた他、東南アジア・欧州でも着実に販売網を拡大し売上高1,903百万円（前年同期比34.1%増）と大幅な増収となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、14,596百万円（前連結会計年度末13,561百万円）となり1,035百万円増加しました。朝霞工場の工場新築等により建物及び構築物が644百万円、前倒し生産の影響等により商品及び製品が540百万円および原材料及び貯蔵品が245百万円、それぞれ増加したことが主な要因です。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、7,693百万円（前連結会計年度末6,974百万円）となり718百万円増加しました。支払手形及び買掛金が321百万円減少しましたが、売上拡大やたな卸資産の積増しに伴う運転資金の増加及び設備投資等により短期借入金が1,100百万円、長期借入金（1年内返済予定含む）が370百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、6,903百万円（前連結会計年度末6,586百万円）となり316百万円増加しました。剰余金処分として配当の支払124百万円がありました。親会社株主に帰属する四半期純利益419百万円を計上したことが主な要因です。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において平成27年5月15日に公表いたしました通期の見直しを変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,848,891	1,706,446
受取手形及び売掛金	3,917,381	3,572,526
商品及び製品	1,780,254	2,320,711
原材料及び貯蔵品	1,828,498	2,074,416
その他	349,474	550,488
貸倒引当金	△6,034	△5,719
流動資産合計	9,718,466	10,218,870
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	840,221	1,484,546
機械装置及び運搬具(純額)	461,113	573,161
土地	1,618,213	1,635,782
その他(純額)	289,100	51,705
有形固定資産合計	3,208,648	3,745,195
<b>無形固定資産</b>		
その他	192,809	182,721
無形固定資産合計	192,809	182,721
<b>投資その他の資産</b>		
その他	453,620	462,601
貸倒引当金	△11,982	△12,709
投資その他の資産合計	441,638	449,892
固定資産合計	3,843,097	4,377,809
資産合計	13,561,563	14,596,679

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,010,369	2,689,299
短期借入金	2,300,000	3,400,000
1年内返済予定の長期借入金	224,856	281,251
未払法人税等	248,714	129,858
賞与引当金	125,127	55,056
役員賞与引当金	46,300	—
その他	433,797	224,824
流動負債合計	6,389,164	6,780,289
固定負債		
長期借入金	234,569	548,902
退職給付に係る負債	300,782	317,095
その他	50,222	47,003
固定負債合計	585,574	913,000
負債合計	6,974,738	7,693,290
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,473,370	1,473,370
資本剰余金	1,438,935	1,438,935
利益剰余金	3,597,220	3,941,924
自己株式	△91,315	△91,370
株主資本合計	6,418,209	6,762,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,280	56,297
繰延ヘッジ損益	13,715	△4,146
為替換算調整勘定	74,707	45,998
その他の包括利益累計額合計	146,703	98,149
新株予約権	21,911	42,381
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,586,825	6,903,389
負債純資産合計	13,561,563	14,596,679

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	8,648,057	8,800,407
売上原価	6,217,930	6,283,094
売上総利益	2,430,127	2,517,312
販売費及び一般管理費	1,631,668	1,838,034
営業利益	798,458	679,278
営業外収益		
受取利息	3,664	5,041
受取配当金	3,804	6,593
為替差益	51,537	10,275
固定資産売却益	22,885	15,010
その他	9,841	12,410
営業外収益合計	91,734	49,331
営業外費用		
支払利息	16,598	20,940
債権売却損	6,913	6,415
その他	5,502	9,993
営業外費用合計	29,013	37,349
経常利益	861,179	691,260
税金等調整前四半期純利益	861,179	691,260
法人税等	325,393	271,577
四半期純利益	535,786	419,682
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	535,786	419,682

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	535,786	419,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,512	△1,983
繰延ヘッジ損益	30,232	△17,861
為替換算調整勘定	32,967	△28,708
退職給付に係る調整額	1,387	—
その他の包括利益合計	67,100	△48,553
四半期包括利益	602,886	371,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	602,886	371,129
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,228,949	1,419,107	8,648,057	—	8,648,057
セグメント間の内部売上高又は 振替高	151,694	546	152,241	△152,241	—
計	7,380,644	1,419,654	8,800,299	△152,241	8,648,057
セグメント利益	612,940	184,173	797,113	1,344	798,458

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額1,344千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,897,155	1,903,252	8,800,407	—	8,800,407
セグメント間の内部売上高又は 振替高	179,457	1,328	180,785	△180,785	—
計	7,076,612	1,904,580	8,981,193	△180,785	8,800,407
セグメント利益	345,211	335,518	680,729	△1,451	679,278

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,451千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。